

コンセプト及び事業計画について

1. 浜松市及び浜松城公園の特性

既存の各種調査・統計データを用いて、浜松市の都市としての特性を把握するとともに、GPS 位置情報ビッグデータをもとに、浜松城公園の来訪者数や来訪者居住地を分析し、徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設の整備の方向性を検討しました。

①ファミリー世帯が暮らしやすい都市・浜松

浜松市と同規模の静岡市、新潟市、堺市の年代別人口比率を比較すると、浜松市は年少人口（0～14歳）の割合が高く、老年人口（65歳以上）の割合が低いことから、子どもをもつファミリー世帯が多いといえます。実際に浜松市内にはファミリー向けの文化施設やレジャー施設が充実するほか、郊外には大型商業施設が充実するなど、ファミリー世帯が暮らしやすい環境が整っています。

②浜松城公園は地域住民にとっての目的施設

浜松市の観光交流客数（宿泊客数＋観光来客数）は、コロナ禍以前には1,800～1,900万人前後で推移しており、コロナ禍の令和3年度は1,189万人でした。

浜松市の観光傾向としては日帰り客が多く、週末にはイベントが開催されることが多い浜松城公園も地域住民を中心とした、地域に密着した観光地の性格が強い傾向にあります。

③浜松城がもつ全国区観光地としての可能性

浜松城は令和3年1月に展示をリニューアルし、令和5年1月にNHK大河ドラマ「どうする家康」の放送開始と合わせ、「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」が開業（令和5年1月22日プレオープン、3月18日グランドオープン）しました。

浜松城の入場者数は前年同月比2.5倍に増加するとともに、全国からの来訪者を獲得。特に平日に60～70代の来訪が増えるなど、浜松城公園は全国区の全日型観光地としての可能性を広げました。



2. 施設整備の基本方針

(1) 施設整備の方向性

本施設は、浜松城公園を全国区の全日型観光地とした「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」の成功を好機ととらえ、全国からの来訪者を集める施設として整備します。

加えて、浜松城公園は市内の若者やファミリーに人気の週末レジャースポットであることから、子どもを含め若い世代も楽しめる施設を計画します。

(2) 施設整備の目標

2つの基本目標に加え、浜松市の魅力向上を積極的に仕掛ける戦略目標を設定します。

【基本目標1】

「徳川家ゆかりの地」としての都市ブランドを確立し、国内外に発信する

これまでの「家康公ゆかりの地」「出世の街」として浜松市の都市ブランドや取り組みは継承しつつ、本施設の整備を契機に「徳川家ゆかりの地・浜松」としての都市ブランドを確立するとともに、国内外に広く発信することをめざします。

【基本目標2】

日本近世史を代表する徳川記念財団及び徳川宗家コレクションを保存・継承、活用する

徳川記念財団が有するコレクションは、徳川宗家(旧将軍家)伝来の歴史資料、文化財約20,000点を誇る、近世日本を象徴する唯一無二の財産です。このコレクションの価値を将来にわたって伝え、確実に継承することをめざします。

【戦略目標】

260年におよんだ江戸時代の泰平の世

その原点の地としての“浜松”の価値を顕在化する

浜松は「家康が飛躍した都市(千田嘉博氏)」であり、「家康が天下人になる素地は、信玄公と直接対決した浜松から築かれた(磯田道史氏)」と評価されています。

その意味で、家康が浜松で得た経験は、その後の歴代将軍にも影響を与え、260年に及ぶ江戸時代の泰平の世の実現につながったということが出来ます。

そこで本施設では、泰平の世の実現に寄与した“浜松”を印象づけるなど、“浜松”の新たな価値を顕在化することをめざします。

3. 施設整備コンセプト

家康公が天下人の基礎を築いた浜松の地で、 徳川将軍家の至宝に触れ、徳川家ゆかりの地へいざなう

家康公が天下人となる素地を築いた地・浜松。

三方ヶ原での大敗、妻子との別れ、後継者の誕生など、ここ浜松での経験は家康公に多大な影響を与え、その後の260年におよぶ泰平の世の実現につながったといえます。

本施設では、徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵する家康公及び歴代将軍ゆかりの品々や将軍家の暮らしぶりを伝える貴重な歴史資料、体験・体感性の高い展示手法等を通して、家康公をはじめとした徳川将軍家が泰平の世の実現に向けて果たした役割、功績を国内外に広く発信するとともに、市民にとっては浜松への誇りや愛着を醸成する施設となることを目指します。

①徳川将軍家の宝にふれる ～本物を体感し、感性を育む～

徳川将軍家の暮らしぶりを伝える歴史資料を中心に展示を構成します。泰平の世に花開いた江戸文化の粋を体感できる、「本物」の資料に触れる機会を提供することで、来訪者の感性を育みます。

②浜松での家康公の足跡を辿る ～徳川家ゆかりの地へいざなう～

三方ヶ原、犀ヶ崖、太刀洗の池など、家康公に多大な影響を与えた出来事の舞台をたどる展示や情報提供を通じて、市内の歴史文化観光の促進に寄与します。

③「浜松と徳川」の歴史を学ぶ ～歴史を研究し、発信する～

家康公や徳川将軍家の研究を本施設の基盤として位置づけます。歴史を探究する地域の大学や市民と連携し、その成果を展示やイベントで発信するなど、研究成果を積極的に市民へと還元します。

4. 機能及び事業計画

(1) 展示

浜松市と家康公及び徳川将軍家との関わり、家康公の浜松での経験が泰平の世を築く基盤となったことを分かりやすく発信することを目的とした展示事業を行います。

調査研究事業等との連携に基づいた、“本物”の資料や情報にこだわった展示を構築するとともに、“体験性・体感性”を重視した展示手法を採用することで、国内外を問わず、幅広い年齢層の人びとに浜松市の歴史や文化的な魅力を伝えることをめざします。

①徳川宗家に伝わる“本物”の資料を中心に、展示を構成します

徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵するコレクションを展示の中核に位置づけた、浜松市ならではの展示を構築します。また、調査研究事業との連携を図り、学術的にも正確な情報の発信に努めます。



イメージ図 1：家康公をはじめ、歴代将軍の肖像画や愛用の品々等を通して、その人柄や活躍を紹介



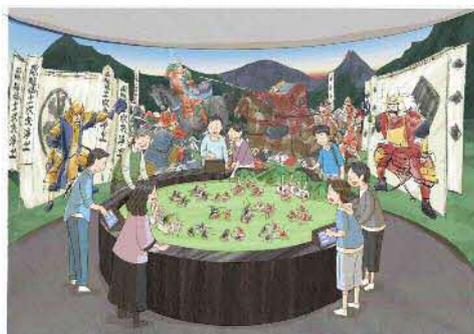
イメージ図 2：「将軍家の名宝」や「大奥の暮らし」など、多彩なテーマによる企画展示を開催

②様々な展示手法の導入により、“体験性”の高い展示を提供します

ジオラマ、シアターなど、体験性の高い展示を積極的に導入することで、歴史に関心が低い人でも興味をもてるきっかけをつくります。



イメージ図 3：家康公や姫様になりきって写真が撮れるフォトスポット



イメージ図 4：地形も再現したジオラマや迫力ある映像により、三方ヶ原の戦いの様子などを体感

(2) 保存

家康公及び徳川将軍家に関連する資料を未来へと受け継ぐために保存事業を行います。

貴重な資料を守り、将来にわたって確実に継承するために必要な各種収蔵機能を整備することで、関連資料の保存・破損の防止等を図ります。

なお、徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵する資料の保存を基本とし、収蔵庫の面積が確保できる場合には、その他の関連資料の収集・保存を行います。

①徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵する資料を保存します

徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵してきた歴代将軍及び徳川宗家に関連する資料の保存・管理を行います。

②市が所蔵する家康公及び徳川将軍家に関連する資料を保存します

これまで浜松市で収集・保存してきた家康公及び徳川将軍家に関連する資料の保存・管理を行います。

(3) 観光促進

本施設に訪れる人びとを、市内に点在する関連施設・史跡へと誘い、歴史観光を促進する観光促進事業を行います。

浜松城や浜松城公園と一体的なプロモーションを実施し、地域の関係者と連携することで、誘客の相乗効果を生み、市内中心部のにぎわいづくりにつなげるほか、国内外から訪れる観光客や市民など、あらゆる来場者に情報を提供し、市内の回遊へと導くことをめざします。

①市内に点在する家康公及び徳川将軍家の関連施設・史跡の情報を集約・発信します

三方ヶ原や犀ヶ崖、太刀洗の池など、市内に残る家康公及び徳川将軍家に関連の深い名所旧跡の概要や魅力、アクセス情報などを提供します。

②浜松城やまちなかと連携して、誘客や送客、市内のにぎわいづくりに貢献します

浜松城や浜松城公園に加え、地域の関係者と連携したイベントやプロモーションの実施により、中心市街地のにぎわいづくりにつなげます。

(4) 調査研究

浜松市と家康公及び徳川将軍家との深い関わりを中心に探究する調査研究事業を行います。

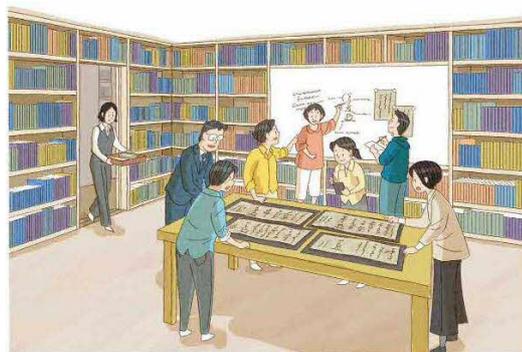
徳川記念財団の協力により、専門的な調査研究や地域の大学、市民等と連携した調査研究活動にも取り組みます。

①徳川記念財団の協力のもとで、家康公及び徳川将軍家の研究に取り組みます

徳川記念財団の協力のもとで、所蔵する資料を活用した家康公や歴代将軍に関する研究、浜松と徳川将軍家の関わりに関する探求を行います。

②地域の大学や市民等、幅広い主体と連携した調査研究活動に取り組みます

大学教員等の研究者に向けて所蔵資料を閲覧に供することに加え、地域の大学生や市民等が所蔵資料を活用した調査研究活動ができるしくみを整備します。



イメージ図5:学芸員や大学教員の指導のもと、地域の大学生や市民が所蔵する古文書を読み解く

(5) 教育普及

市民や子供たちが、家康公及び徳川将軍家と関わりの深い浜松市の歴史や文化について学び、地域に対する誇りを醸成する教育普及事業を行います。

一般的に歴史への関心が高い高齢世代だけでなく、ファミリー世代をターゲットに位置づけるとともに、市民や子供たちとともに教え、学びあえる環境づくりにも取り組みます。

①幅広い市民に対するプログラムやイベントを通して、浜松への愛着を育みます

浜松城や浜松城公園、地域の商店街等と連携して、さまざまなプログラムやイベントを企画・開催することで、地域の住民や国内外の観光客との交流を促し、浜松への愛着を育みます。

②市内の小中学校と連携を図り、郷土教育や総合学習に寄与します

郷土学習や総合学習といった小中学校のカリキュラムに即した出前プログラムや展示見学シートを開発するなど、学校が利用しやすい環境の整備に取り組みます。